

平成 26 年度内部監査（定期監査）結果について

1 監査日時

平成 26 年 10 月 8 日（水）10:00～10 日（金）16:00

2 監査項目

- ①科学研究費補助金監査（公的研究資金）監査
- ②物品（ノートパソコン・タブレット）実地監査
- ③出勤簿（休暇簿）監査
- ④内部監査指摘事項改善状況監査
- ⑤JST サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトに係る特別監査

3 監査実施結果の概要

科学研究費補助金監査（公的研究資金）監査

従来の無作為抽出に加え、本学の不正リスクに基づき抽出を行い、平成 25 年度に採択された科学研究費等の公的研究費の 3 割を越える 26 件の研究課題を対象とし、公的研究資金の受入から執行、資産の管理状況等について監査を実施した。また、直接経費の高額な 8 件については特別監査項目として、それぞれの研究室において研究代表者から設備等の稼働状況、納品確認の体制及び出張の状況等についての聞き取り調査も実施した。

物品（ノートパソコン・タブレット）実地監査

平成 25 年度に購入したノートパソコン・タブレットのうち無作為に抽出した 24 件を対象として、対象物品の存否、使用状況等についての実地監査を実施した。

出勤簿（休暇簿）監査

休暇・出張・研修などの出勤簿の表示等について 6 部署の監査を実施した。

内部監査指摘事項改善状況監査

平成 25 年度の指摘事項である 1) 研究協力時間報告書における記載方法の周知徹底、2) 工事依頼書に対する不備など 7 件の改善状況等について、業務担当者からの聞き取り調査等を実施した。

JST サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトに係る特別監査

平成 25 年度に実施したサイエンス・パートナー・プロジェクト事業の実施状況、補助金の執行・管理状況について監査を実施した。

4 重要な発見事項

重要な発見事項は見あたらなかったが、今後における業務改善事項として出勤簿の記載誤り等の改善や出勤管理の徹底など7件を学長に報告した